

「夜アイス」専門店 全国で脚光



店の前に買い求める人の列ができることもある＝真夜中牧場提供

1日の締めくりにアイスはいかが——。学校や仕事からの帰宅途中の人や外食後の人をターゲットに、夜間に営業する「夜アイス」専門店が、全国で続々とオープンしている。これまで少なかった夜に営業するスイーツ店と、味や見た目にこだわった商品が幅広い世代に人気だ。商機とみた菓子メーカーにも動きが出てきた。

「21時にアイス」(大阪府)、「0 cal / ダイエットは明日から」(同)、「月曜からアイス」(香川県)、「アイスは別腹」(兵庫県)。インターネットで

味や見た目でこだわり

「夜アイス」と検索するとユニークな名前を冠した店舗がヒットする。営業時間は各店とも夕方から深夜までが中心だ。旬のフルーツで盛り付けるなどネット交流サービス(SNS)でも映えるメニューが特徴だ。

西日本勢が強い夜アイス専門店だが、首都圏にも進出しつつある。「真夜中牧場」は今年、東京都墨田区内に2店舗を出店した。店舗は東京スカイツリーや国技館近くに構え、観光客の取り込みを図る戦略だ。

北海道産の材料を使った濃厚な味わいのアイス(税込み680円～)を提供する。客層は幅広く、行列ができることもある。近く都内で3店舗目をオープン予定という。

同店は、飲酒後にパフェを食べる北海道・札幌発祥の「シメパフェ」に着想を得て出店。店舗を運営するオトノミクス(東京)の担当者は「出店したエリアには夜間スイーツを出す店がなく『観光や食事後にちょっといいアイスを食べたい』というニーズに刺さったようで喜ばれている。札幌のように夜アイスを根付かせたい」と話した。

夜アイスを手軽に自宅で楽しんでもらおうと菓子メーカーも新商品を投入した。森永製菓は18日、「自身へのご褒美」としてアイスを選ぶ消費者のニーズを意識し、カップアイス「チョコホリックモンスター」(同259円)を発売した。【嶋田夕子】